

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第 65号	令和元年度那須塩原市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第 66号	令和元年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 67号	令和元年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 68号	令和元年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 69号	令和元年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 70号	令和元年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 71号	令和元年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 72号	令和元年度那須塩原市墓地事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 73号	令和元年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 74号	令和元年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第 75号	那須塩原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決
議案第 76号	那須塩原市森林環境整備促進基金条例の制定について	可決
議案第 77号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	可決
議案第 78号	那須塩原市印鑑条例の一部改正について	可決
議案第 79号	那須塩原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第 80号	那須塩原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第 81号	那須塩原市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第 82号	那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について	可決
議案第 83号	平成30年度那須塩原市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
認定第 1号	平成30年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 2号	平成30年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 3号	平成30年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 4号	平成30年度那須塩原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 5号	平成30年度那須塩原市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 6号	平成30年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 7号	平成30年度那須塩原市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 8号	平成30年度那須塩原市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 9号	平成30年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 10号	平成30年度那須塩原市水道事業会計決算認定について	認定
発議第 11号	那須塩原市議会業務継続計画（議会BCP）について	可決
発議第 12号	決算審査特別委員会の設置について	可決
議案第 13号	議員の派遣について	可決
議案第 14号	議員の派遣について	可決

なしおふれあいトークを開催します

市民に開かれた議会を目指すため 議会報告会及び意見交換会

なしおふれあいトーク開催

第1部 議会報告

- 6月・9月定例会報告 ●各特別委員会の報告
- その他の報告

第2部 意見交換会 “ご意見ください”

- ①新庁舎について（全会場共通）
- ②会場別テーマ



①厚崎公民館

テーマ 厚崎地区の課題とは？

11月12日(火)
午後6時30分～8時30分

担当議員 星野健二 相馬義一
齊藤誠之 玉野 宏
鈴木伸彦 中村芳隆

②西那須野公民館

テーマ 生きがいのある高齢者社会づくりを考えよう

11月13日(水)
午後2時00分～4時00分

担当議員 星 宏子 松田寛人
相馬 剛 金子哲也
平山 武

③くるる (まちなか交流センター)

テーマ クールなすしおぼら ～那須塩原市の魅力を発掘しよう!!～

11月14日(木)
午後6時30分～8時30分

担当議員 中里康寛 佐藤一則
田村正宏 吉成伸一
小島耕一

④東那須野公民館

テーマ 那須塩原駅前活性化について

11月19日(火)
午後7時00分～9時00分

担当議員 森本彰伸 齋藤寿一
伊藤豊美 山本はるひ
高久好一

⑤くるる (まちなか交流センター)

テーマ 防災の在り方について

11月19日(火)
午後6時30分～8時30分

担当議員 益子丈弘 櫻田貴久
山形紀弘 眞壁俊郎
大野恭男



議会に関するアンケートを市ホームページで実施中です。左のQRコードからぜひご回答ください。



上記日程をご確認の上、ご都合の良い会場へお気軽にお越しください。お問合せ 議会事務局 電話 0287-62-7181



佐藤 一則議員



地域福祉を推進するための対応は

問災害時の避難行動要支援体制の整備状況は。
答保健福祉部長 自治会と連携し、災害時に避難することが困難な高齢者や障害者を支援する避難行動要支援者支援事業に取り組む。同意を得た人の名簿を自治会に提供し、避難に関する個別計画を作ってもらふほか、救出や救助などを行うための協定を結ぶ準備を進めている。事業に同意し、市と協定を締結した自治会数は171で、未締結の45自治会に対して、協定締結を依頼している。
問自立相談支援事業の内容は。
答保健福祉部長 生活保護には至らない困窮者を対象とした相談支援事業であり、相談件数は平成27年度214件、28年度166件、29年度139件、30年度145件である。相談支援で新たに就労した人は、平成27年度3名、28年度6名、29年度12名、30年度18名で、年々増加している。

男女共同参画社会の実現に向けた対策は

問DV防止のための啓発内容は。
答市長 暴力の未然防止や再発防止を図り、被害者、加害者にならないよう高校生向けの出前講座のほか、ワークショップや朗読劇を開催している。そのほか、パンフレットなどを市内の中学校、高校に配布しているほか、広報紙「みいな」へのDV防止記事を掲載し、啓発に努めている。
問審議会などの男女比率の状況は。
答企画部長 令和3年度における女性比率の目標値は40%としている。平成27年度32.8%、28年度が30.6%、29年度30%、30年度28.9%、31年度29.5%で、ほぼ横ばいで推移している。



山本 はるひ議員



紙とSNSの併用で行政情報の積極的な発信を!

問情報公開における市の考えは。
答市長 情報はまちづくりに不可欠な要素で、個人情報などを除き、積極的に共有するものと考えている。
問市民や、団体からの意見聴取を行う上での市の考え方は。
答市長 今後タウンミーティングを活用し、幅広い年齢からの意見を聞く予定であるが、特に子育て世代の意見を聴きたいと考えている。
答企画部長 タウンミーティングは年度内に開催したい。名称については「みちたろう TO わくわくトーク」という形で予定している。
問今年度行われた「広報と市の魅力に関するアンケート」の分析結果は。
答企画部長 若い層ほど広報誌への興味は薄いが、読んでいる人の満足度は比較的高いと感じている。現在月2回の発行だが、1回で良いという回答が平成25年度に行った調査より増えた。
答市長 紙とインターネットはそれぞれ役割があり、得意、不得意がある。それを踏まえた情報発信の戦略を策定し、それぞれの利点にあった発信に努めたい。
問市ホームページに掲載されているイベント情報について、LINEなどで周知する考えは。
答市長 市のSNSについて現在精査をしているが、LINEの実施についても検討している。



相馬 剛議員



旧高林財産区の管理と活用について

問公有財産としての山林は647万㎡、立木の蓄積量は6万㎡で、大部分が旧高林財産区のものである。この管理と今後の活用方法は。
答産業観光部長 旧高林財産区は標高600mから1,300mにあり、大蛇尾地区349ha、小巻地区200ha、板室地区40ha、三斗小屋地区6haの四地区で構成されている。杉、檜、カラ松などの植生と山林管理は、環境に配慮した適正な森林管理と有効活用を方針に、190haは分収造林契約者が管理している。小巻・板室・大蛇尾地区の一部は、引き続き那須塩原市森林組合が保安林として管理する。立木は来年度2.4ha、再来年度2.8haを伐採し売却したい。伐採費用は1,300万円、売上は1,500万円を見込んでおり、伐採後は県補助金を活用して落葉広葉樹を植樹する計画である。

那須塩原駅東口の整備について

問那須塩原駅東口から国道4号までの通りを、高松丸亀町街づくり戦略を参考に、民間活力を導入し、再開発をする考えはあるか。
答市長 東口は駅前広場整備後30年が経過し、車両乗り入れ環境など、利便性に課題がある。商店街も店舗数が減少し、整備は必要と認識しているが、那須塩原駅周辺まちづくりビジョン策定の有識者会議で、東口も議論し方向性を出したい。商店街主導で開発が進むとすればサポートしていきたい。



星 宏子議員



災害廃棄物処理計画策定について

問災害廃棄物処理計画の策定を国が全国の各自治体に求めているのを受け、栃木県では本年3月に策定した。未策定の本市における災害時の廃棄物処理の対策は。
答市長 現状は、発生した災害の種類や規模によって対応している。東日本大震災時は、旧市町のクリーンセンター3カ所を災害廃棄物の仮置き場とした。課題は、正式な仮置き場を選定し、その位置や廃棄物の分別方法を市民に周知することである。
問災害廃棄物処理計画を策定する考えはあるか。
答生活環境部長 環境省が実施している災害廃棄物処理計画策定モデル事業に参画し、国や県の助言を受け、来年度計画策定に向けて作業を進めている。計画を策定することで、災害時に大量の災害廃棄物が発生した場合でも、処理が適正に行われ、災害時の市民生活への影響が軽減できる。

外国人児童生徒への日本語支援について

問日本語教育の推進に関する法律が今年の6月に施行となった。外国人生徒の日本語支援を充実させるため、中学校に日本語教室を設置する考えはあるか。
答教育長 現在は、小学校3校に、県費負担教職員が1人ずつ配置された日本語教室を設置し、そこに中学生も通っている。中学校にも県費負担教職員が配置された日本語教室が必要だと考えているため、配置を県教育委員会に要望している。





山形 紀弘議員



ONSENガストロノミーツーリズムについて

問ONSENガストロノミーツーリズムの具体的な事業内容は。

答市長 今年度、少人数のモニター参加者が、塩原温泉や板室温泉の豊かな自然や歴史に触れ、地域の食材を生かした食を楽しむウォーキングや泉質や効能にすぐれた温泉につかる事業を計画をしている。

問ONSENガストロノミーツーリズムを宿泊客誘致にどのようにつなげていくのか。

答市長 宿泊案内をして前泊などにつなげていきたい。併せてメディアミックスやSNSでの情報発信をすることで、知名度を上げ、行ってみたい温泉地の定着化とまた行きたくなる温泉地としての認知度を高め、宿泊客の増加を図っていきたい。

東京2020オリンピック・パラリンピックについて

問開催の影響と経済効果は。

答教育部長 ホストタウンとしてオーストリアのトライアスロン選手の事前キャンプ誘致を進めている。スポーツの振興、オーストリア選手や日本のオリンピック、パラリンピアンとの交流に加え、オーストリアとの文化交流が更に活発になる。経済効果については、国内外から多くの観戦者が見込まれ、東京での宿泊料金の高騰や宿泊施設の不足が予想される。東京からの利便性が高い本市でも宿泊客の増加が期待できると考えている。

問今後予定されている取り組みは。

答教育部長 来年3月に行われる聖火リレーの準備を進めている。



中里 康寛議員



公共事業で発生する建設発生土の処理について

問市発注の公共工事で発生した建設発生土は、どのように処分されているのか。

答市長 公共工事の建設発生土は、現場内または他工事現場で再利用されない場合は、処分地を確保しなければならない。工事発注時において、市が処理地を指定する場合もあるが、その多くは受注業者が確保しているのが現状であり、市が適切な処分地を示す必要がある。

問受注者の裁量で処理地を確保するものとなっているが、現実には処理地が見つからず、受注者の土地に仮置きされたままになっているなどの問題がある。こうした問題に対する今後の対応は。

答市長 建設発生土の処理地については、市があらかじめ確保し、処理することが原則である。しかし、すべての建設発生土の処理地を見つけることは困難であり、引き続き県、関係市町と連携を図り、処理地確保に努めていきたい。

問指定処理地の確保が進まない理由は。

答総務部長 民地であれば地権者の了解が必要になることや、発生土の質によって処分先が限定されることから確保が進んでいない。

問今後、解決に向けての市の対応は。

答総務部長 現在、庁内では建設関係調整会議が設置してある。この会議は、工事担当部局が集まり、工事についての検討、調整を行っていく会議である。今後、この会議において、さまざまな課題解決に向けて検討していく。



田村 正宏議員



「関係人口」の創出拡大について

問地域に関心を持って多様に関わり、応援してくれる「関係人口」増加のため、ふるさと納税寄附者を囲い込んでどうか。

答市長 市に魅力を感じて、関心を持ってもらうきっかけづくりとして、体験型返礼品をラインアップするなど、返礼品の充実に努めている。

問市のふるさと納税における一番高額な返礼品メニューは30万円であるが、より高額なメニューを揃える考えは。

答市長 富裕層をターゲットにした返礼品について研究していきたい。

問返礼品ではなく自治体の事業に対して寄附を募る「ガバメントクラウドファンディング」を導入する考えは。

答市長 ガバメントクラウドファンディングについては今後実施に向けた検討を行う。

問ふるさと納税の寄附者に、なすしおばらファンクラブの会員になってもらう考えは。

答企画部長 お礼状送付時に、ファンクラブの案内を同封するという対応ができると考えている。

新学習指導要領と主権者教育について

問政治に参加する意識を醸成するための主権者教育の現状は。

答教育長 小学校では日本国憲法の基本的考え方、中学校では民主政治の仕組みや議会制民主主義の意義や望ましい政治のあり方などを学んでいる。



金子 哲也議員



アートを活かしたまちづくりを西那須野にも

問アートを活かしたまちづくり（ART 369プロジェクト）は点や線だけでなく、面の視点で取り組むことが重要である。西那須野地区の田園空間博物館を利用した新たなアート400プロジェクト（国道400号）に取り組む考えは。

答企画部長 現在重点的に取り組んでいるART 369プロジェクトの推進を最優先としつつ、その進捗状況に応じて、今後検討していきたい。

問県北に美術館を建設する構想はないか。

答市長 県北の美術館建設の場合は、広域的な連携が必要であると考えている。

問那須野が原博物館に収蔵庫を建設する考えは。

答教育部長 建設費用の捻出や財源の確保などの課題もあり、現時点では未定である。

街路樹をもっと大切に

問大田原市の街路樹は、葉も整っているが、西那須野地区の街路樹は、葉まで刈り取られている。街路樹の剪定はどのように行っているのか。

答建設部長 街路樹の剪定業者はシルバー人材センターに委託し道路の安全を優先し、電線などに支障がないように指示している。

問西那須野運動公園西側の大木が大きく切られている。子どもの教育上良くないと思うが市の考えは。

答教育部長 道路の安全や電線などに支障がないよう切った。今後、関係課と協議していきたい。

答市長 センスの問題もあり、隣町から来ると急にみずぼらしくなるのを、感じたことがある。その点は今後留意していきたい。





小島 耕一議員



農業の担い手育成について

問新規就農者を育成する、農業次世代人材投資事業の予算が不足した場合の対応は。

答産業観光部長 国に強く要望する。

問認定農業者に対し、スマート農業の導入支援をどのように行うのか。

答産業観光部長 JA や生産者にアンケート調査を行い、現状を把握するとともに、国や県などの動向を参考に、先進事例の調査研究を積極的に行う。

問不作付地や耕作放棄地の解消に向け、今後どのように取り組むのか。

答農業委員会事務局長 農業委員会の農地利用最適化推進委員会を中心に、借り手の耕作者を探すことになる。

問人・農地プランの実施方法は。

答産業観光部長 令和2年度末までに、農地利用最適化推進員がいる38地区ごとに計画作りを進める。

問酪農とちぎ農業協同組合では、モミサイレージ技術を高根沢町で始めた。飼料についても地産地消を進める取り組みで、耕畜連携を進める技術でもあり、導入を支援する考えは。

答産業観光部長 今後検討する。

問園芸作物生産振興事業で設備投資を補助しているが、上限が50万円となっている。新規就農者の補助金の上限を300万円にする考えは。

答産業観光部長 今後検討していきたい。



森本 彰伸議員



高齢者の社会参加支援について

問高齢者の就職状況を調査する考えは。

答市長 令和2年度に策定予定の第8期高齢者福祉計画のアンケートで、就職を希望している高齢者の実態について調査を行い、就職支援について今後判断をしていきたい。

問豊富な経験を持った高齢者は、貴重な人材になる。企業と高齢者のマッチングを福祉計画に盛り込む考えは。

答保健福祉部長 働き手不足、高齢者の社会参加支援という状況で、企業と高齢者のマッチングは、必要になってくると考えているが、アンケートの結果を踏まえ、検討していきたい。

スケートボード、スポーツクライミングの振興と支援について

問スケートパーク、クライミングウォールを整備する予定は。

答教育部長 現時点では、スポーツ施設としてスケートパーク、クライミングウォールの施設整備をする予定はない。なお、現在、建てかえを行っている埼玉小学校体育館に、児童の教育活動用として、クライミングウォールの設置を進めている。

問スケートボード、スポーツクライミングの愛好者が体育協会に登録するために必要な条件は。

答教育部長 市単位でアマチュアスポーツ、レクリエーション団体として運営している団体が対象である。さらに年間を通じて継続的かつ計画的に事業を実施し、団体の会則・規約があること、1つの種目については1団体であることなどの条件がある。



星野 健二議員



今後の風疹対策について

問風疹対策は、期限が3年間に決められている。徹底した周知が必要と思うが、周知の方法は。

答保健福祉部長 ホームページ、広報のほかに、ポスター、チラシを人が集まるスーパーやホームセンターに送付することを考えている。併せてみるメールの活用を考えている。

問働き盛りである39歳～56歳の対象者に対し、受診しやすい環境を整えているか。

答市長 クーポン券を持参することで、全国の医療機関で受診を可能にした。さらに抗体検査については、今年度から3年間、市の集団健診とあわせて日曜日でも検査ができるようにしている。

公用車へのドライブレコーダーの設置促進

問公用車にドライブレコーダーを設置することは、防犯対策となり、地域の安全安心につながると思うが市の考えは。

答総務部長 市民に知っていただくことで、動く防犯カメラとして犯罪抑止力の強化が期待でき、地域の安心安全につながるものと考えている。

問公用車にドライブレコーダーを設置する予定はあるか。

答総務部長 稼働率や用途を考慮し、優先順位をつけて設置を検討していく。

問自主防犯パトロールの車(青パト)にドライブレコーダーを設置した場合の補助は。

答生活環境部長 自主防犯団体から申請があれば、補助対象として扱っていきたい。



齊藤 誠之議員



幼児教育・保育の無償化に伴う、副食費の対応について

問公立保育園における土曜給食の提供を来年4月に始めるにあたり、内容はいつまでに決めるのか。

答子ども未来部長 今年の12月までに方向性を決定したい。

犬や猫の殺処分の回避を目指して

問平成30年度に本市で捕獲された犬や、引き取られた猫の譲渡数と殺処分の状況は。

答生活環境部長 平成30年度的那須塩原市での犬の捕獲数は273頭、そのうち譲渡数は148頭、譲渡先未決定数が7頭、飼い主への返還が17頭、殺処分は101頭であった。猫の引き取り数は16頭、そのうち譲渡数は10頭、收容中に死亡が3頭、殺処分は3頭という結果である。

問平成30年度の犬猫の避妊・去勢手術費助成制度の実績は。

答生活環境部長 助成額は142万4,000円で件数は369件である。件数の内訳は、犬の避妊が54件、去勢は42件、猫の避妊が167件、去勢が106件となっている。

問他の自治体では、財源の確保策として、ふるさと納税のメニューに掲げている。今後、犬や猫を殺処分させないため、メニューに取り入れている考えはあるか。

答生活環境部長 ふるさと納税のメニューに掲げている自治体を参考に検討していきたい。





櫻田 貴久議員



観光行政について

問本市の観光の最大の課題は何か。
答市長 那須塩原駅前に来た観光客にとって魅力的なエリアにしなければならないと考えている。プロモーションをはじめ、多くの人に来てもらえるような発信が最大の課題だと思っている。
問今後の観光に係る指定管理者制度の施設の運用方針は。
答産業観光部長 利用料金制度の導入を図りながら、サービスの向上やコスト削減につなげていきたい。
問温泉を活かした宿泊客誘致の推進に係る現時点での具体的な取り組みは。
答市長 市内の温泉地を起点とし、自然の中を歩きながら歴史を学び、その土地ならではの食を楽しむ温泉ガストロノミーツーリズムのモニターツアーを今年度内に実施したい。

黒磯駅周辺整備について

問黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業の完成年度はいつか。
答建設部長 令和元年度内の完成を目標としている。
問黒磯駅周辺のランドデザインとは。
答建設部長 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画では、都市機能の向上による持続可能な中心市街地・黒磯の再興を目標としている。まちなか交流センターや那須塩原市図書館が起点となり、多くの人々が駅前に滞在するとともに、地元商店街とも連携して、歩いて楽しいまちとすることで、にぎわいが生まれるものと考えている。



高久 好一議員



市職員の育児休業取得について

問市職員の男女の昨年度の育児休業取得状況は。
答市長 昨年度の育児休業取得対象者は、男性が15人、女性が13人で、取得者は男性3人、取得率20%、女性が13人で取得率100%となっている。
問育児休業を取得しやすい環境づくりとして、市が独自に行っている施策は。
答市長 市独自の施策では、部下が育休を取得しやすい環境づくりに努めるリーダーを養成するイクボス研修がある。
答総務部長 研修は、今年1月、1日だけの実施となったが、午前と午後の2回に分け、延べ100人の職員が参加した。

消費者行政について

問過去3年間における特殊詐欺の被害件数は。
答生活環境部長 平成28年は8件約1,254万円、29年は6件約397万円、30年は5件約4,229万円となっている。
問主な対策と啓発活動の参加者数は。
答生活環境部長 対策は、特殊詐欺撃退機器対応事業、消費生活相談員による出前講座、店頭啓発などを実施している。昨年度は出前講座を22回実施し、524人の参加があった。
問特殊詐欺撃退機器の利用状況と市民の反応は。
答生活環境部長 撃退機器は、8月末で75台を貸し出している。反応は、不審電話、迷惑電話の回数が減った、被害防止に効果があり安心して電話に出られようになった、との反応があった。



益子 丈弘議員



職場の働き方や労働環境について

問今後、社会のモデルとなるような働き方や職場の労働環境に取り組む考えは。
答市長 限られた人員と財源の中でより効率的かつ効果的な行政サービスを行っていくため、国の動向などを注視しながら、職員の働き方や職場の労働環境のあり方などの調査研究を進めていく。
問新しい技術であるRPA※や職場環境テレワークの市への導入は考えられるか？
答市長 RPAやICTなど、今後のテクノロジーに精通している職員はほとんどいない。今後研修を通じて育成したり、RPAに詳しい人材を探していく。また、テレワークの導入についても、さまざまな働き方があると思うので興味深い指摘であり、考えていきたい。

道の駅明治の森・黒磯の今後について

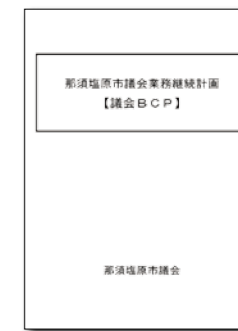
問道の駅明治の森・黒磯を整備する予定は。
答産業観光部長 近隣の農家、酪農家と連携し生乳を使った加工品などの製造販売に取り組む。施設の利用者や地元の意見を参考にしながら整備、運営方針をまとめ、スケジュールとしては令和4年度までに施設を仕上げていきたい。

※RPA…Robotic Process Automation (ロボティックプロセスオートメーション)の略語。人工知能等を活用した、主にホワイトカラー業務の効率化・自動化の取り組み。



議会BCP(議会業務継続計画)を策定

災害発生時に、議会が迅速かつ適切な行動を起こすことができるよう「那須塩原市議会業務継続計画」(議会BCP)を策定しました。



この計画では、災害発生時に市の対策本部と連携し、市民の安全確保、被害防止の拡大、災害復旧、議会機能の維持・回復を図るため、議会における具体的な行動基準を定めています。詳しい内容は、市議会のホームページをご覧ください。



議会関係の視察件数

行政視察(議会関係)で本市議会を訪れた自治体を紹介します。(令和元年8月~10月)

No.	日にち	来訪者	視察項目
1	8/1	香川県丸亀市	議会の広聴広報活動
2	8/6	静岡県沼津市	議会改革の取り組み
3	8/9	茨城県常陸太田市	議会改革の取り組み
4	8/9	福島県相馬市	議会基本条例の検証 議会の広聴広報活動
5	10/4	島根県出雲市	議会実行取組計画
6	10/7	愛知県西尾市	議会活性化の取り組み
7	10/10	宮城県大崎市	議員定数・議員報酬・ 政務活動費の見直しに関する取り組み



香川県丸亀市視察

Future

～わたしの夢～ No.9

那須拓陽高等学校 2年(黒磯北中学校出身)

さとう うるみ
佐藤 麗心さん

夢は獣医さん、牛と関わりたい!!

国語の現代文が好きで、休日は勉強会を開いたり、友人たちと遊んだり、近くの山へ出かけたりしています。畜蹄師の叔父に勧められ『銀の匙』という漫画を読んだことがきっかけで、牛と関わる仕事、特に獣医師になりたいと思い那須拓陽高等学校に入学し、牛部※に入部しました。日々夢に向かってチャレンジし続け、そして、食や命のありがたさに感謝しながら、充実した高校生活を送っています。将来の夢である牛と関わる仕事に就くために必要な資格を取得できるよう、大学進学を目指して勉強と部活の両立に励んでいます。

※牛の搾乳や餌やり、除糞などの管理をはじめ、毛刈りや調教、共進会で牛の縄を引くリードマンの練習等も行う部活動。



麗心さんは自分の夢を明確に持ち、普通科の生徒ながら農業系の牛部に所属し、将来の夢を実現するために努力を続けている素晴らしい生徒です。

(推薦者 柳田達夫先生談)

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
11/3	4	5	6	7	8	9
		議員全員協議会				
10	11	12	13	14	15	16
		議会報告会	議会報告会	議会報告会		
17	18	19	20	21	22	23
		議会報告会			本会議 開会	
24	25	26	27	28	29	30
	本会議 一般質問 コンサート	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 議案質疑	
12/1	2	3	4	5	6	7
		常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
8	9	10	11	12	13	14
			常任委員会 議員全員協議会	本会議 閉会		

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

議場コンサート



11月25日(月)
午前9時30分～50分

◆場所
市役所本庁舎4階議場

◆演奏者
かでんつ(アカペラ合唱団)

◆演奏曲
♪諸人こぞりて
♪Ave Maria
他4曲

◆その他
予約不要、入場無料



編集後記

令和になり初めての実りの季節を迎え、最近ではめっきり秋も深まりました。一方で今年も台風19号をはじめ全国各地で災害が発生しました。今なお、いたるところで生活への影響が見受けられます。被害に遇われた方にお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧、復興をお祈りいたします。本市においては大きな被害はありませんでしたが、いつなんどき災害が起きるかわかりません。常に物心両面で備えを怠らないようにしたいものです。何気ない日常の有り難さを感じるこの頃です。

(益子丈弘)